

## 生理学・口腔生理学

[講義] 第1学年 前期 必修 1単位

《担当者名》 教授 / 石井 久淑 hisayosh@ 講師 / 佐藤 寿哉 toshiya@ 助教 / 島谷 真梨 mshimatani@

## 【概要】

顎・顔面・口腔領域の諸器官による生理機能、特に、口腔機能（運動、感覚及び自律機能）のあらましを学修する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	運動機能1-咀嚼	咀嚼運動の特徴と調節機構の概略について学ぶ。 (A-3-2-9～10)	石井 久淑 佐藤 寿哉
2	運動機能2-嚥下	嚥下運動の特徴と調節機構の概略について学ぶ。 (A-3-2-10)	石井 久淑 佐藤 寿哉
3	運動機能3-嘔吐	嘔吐運動の特徴と調節機構の概略について学ぶ。 (A-3-2-11)	石井 久淑 佐藤 寿哉
4	運動機能4-言語形成	言語の形成過程と特徴の概略について学ぶ。 (A-3-2-13～14)	石井 久淑 佐藤 寿哉
5	感覚機能1-顎・口腔・顔面の体性感覚	顎・口腔・顔面の体性感覚（特に痛覚）の特徴と神経機構の概略について学ぶ。 (A-3-3-9)	石井 久淑 佐藤 寿哉
6	感覚機能2-味覚と嗅覚	味覚と嗅覚の特徴と神経機構の概略について学ぶ。 (A-3-1-6-1)	石井 久淑 佐藤 寿哉
7	自律機能-唾液	唾液の特徴と分泌調節機構の概略について学ぶ。 (A-3-3-6～7)	石井 久淑 佐藤 寿哉
8	中間テスト	口腔機能（運動、感覚及び自律機能）の習熟度を評価する。	石井 久淑 佐藤 寿哉 島谷 真梨
9 ） 15	発表会	口腔機能（運動、感覚及び自律機能）の各单元について、関連領域のトピックスを中心にプレゼンテーションする。	石井 久淑 佐藤 寿哉

## 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

中間試験（筆記試験）（40％）、定期試験（筆記試験）（60％）で評価し、60％以上を合格とする。

・小テスト、プレゼンテーションの内容及び作業状況も評価に加える。

## 【参考書】

「ビジュアル生理学・口腔生理学」学建書院

## 【学修の準備】

予習として、次回の授業範囲の配付資料を読んで、専門用語の意味を理解しておく（80分）。

復習として、ノート、配付資料及び参考書を活用し、理解を深める（80分）。

## 【ディプロマポリシー（学位授与方針との関連）】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。（専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力）

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。（科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢）

( 2026年度・歯学部 )

**【実務経験】**

石井 久淑 ( 歯科医師 )、佐藤 寿哉 ( 歯科医師 )、島谷 真梨 ( 歯科医師 )

**【実務経験を活かした教育内容】**

実務経験のある歯科医師が、基礎科目と歯科臨床科目の関連性を明確にした授業を行う。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している